

大王杉

大王杉は、屋久島で最大、最古の屋久杉の 1 つです。この巨木は、高さ 24.7 メートル、周囲 11.1 メートル、推定樹齢約 3000 年です。有名な縄文杉が発見されるまでは、大王杉は島にあるこの種の木の中で最も古く、最大だと考えられており、そのため、大王杉と名付けられました。残念ながら、現在、大王杉は外側から空洞の一部が見え、もはや最高の状態ではありません。しかし、展望デッキからしか見ることができない縄文杉と違って、大王杉はそばに行って、近くから見上げることができます。大王杉は、大株歩道沿い、縄文杉のすぐそばにあります。荒川登山口から続く道の延長にあります。ウィルソン株もこの道沿いにあります。